誰もが住みやすいまち浜松を目指して

アンケート調査ハイライト

アンケート調査実施

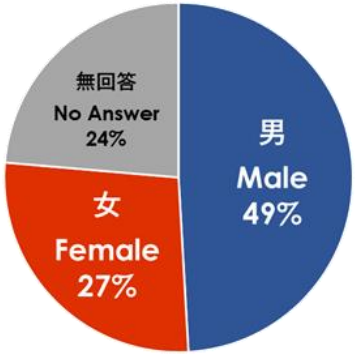
浜松経済同友会

浜松地域高度外国人雇用就労促進研究会外国人材サポートWG

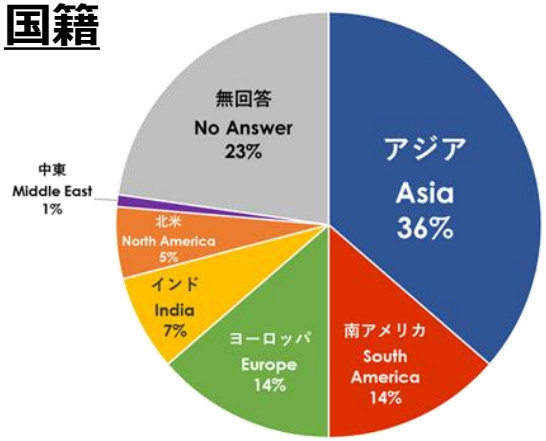
調査協力：polybotics Stronger Together

回答者属性

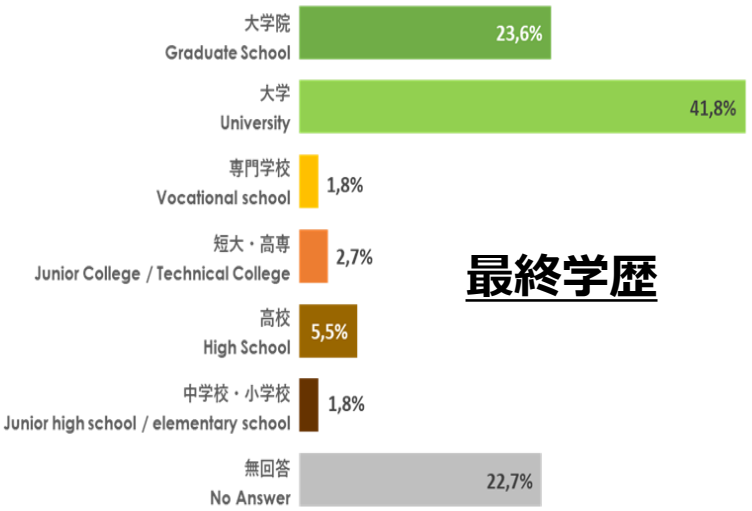
性別



国籍

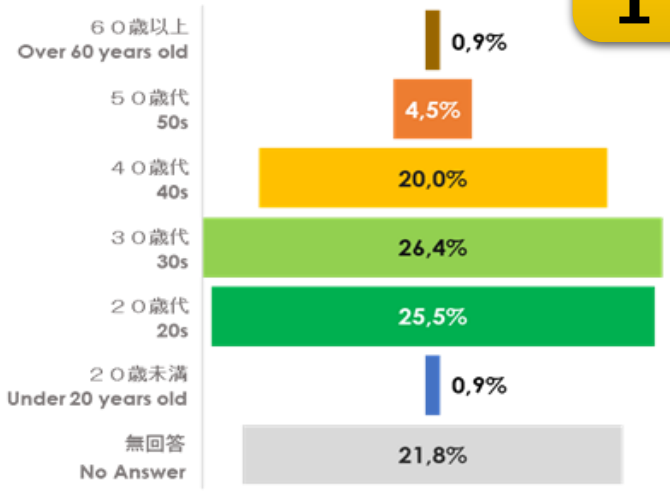


最終学歴

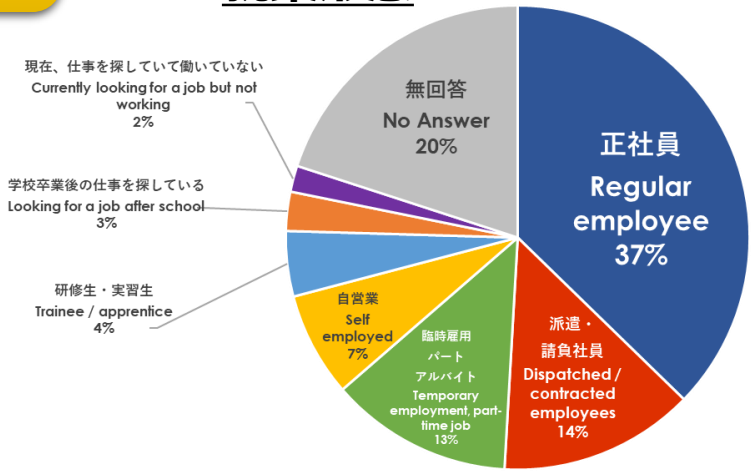


有効回答数
１１０人

年代

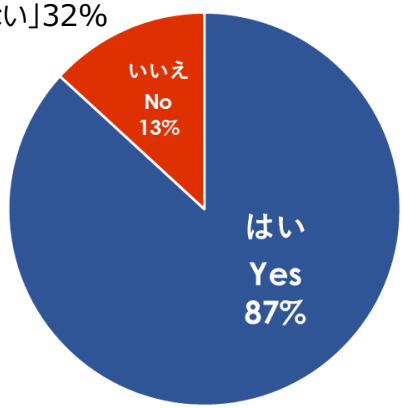


就業形態



浜松での日常生活・育児・住まい

浜松での日常生活に満足していますか



満足していない
「美術館・博物館・工場見学が少ない」32%
「観光アクティビティが少ない」31%
「イベントが少ない」26%
「買い物する店が少ない」22%
「仕事が見つけにくい」22%

満足
「治安が良い 」81%
「自然や公園が」77%
「人がやさしい 」74%
「食べ物がおいしい 」68%
「気候が合っている 」67%
「浜松が日本の中間地点というロケーションの良さ 」67%

浜松での生活で困っていること

TOP5

「保険や税金のしくみがわからない」62%
「文化や習慣がわからず人との付き合い方がわからない」57%
「相談する窓口がどこかわからない」53%
「日本語が理解できずコミュニケーションがとれない」48%
「一緒に出掛ける友人がいない」42%

浜松での住まい探しで困ったこと

TOP5

「外国籍という理由で家やアパートを借りられない 」**42%**
「外国人対応の不動産屋をみつけられない 」**40%**
「家賃が高くて自分の希望する物件が借りられない」**39%**
「契約書が日本語でわからない」**38%**
「住まいを探すための地域情報がわからない」**36%**

育児で困ったこと（全体の回答者の32.7%が該当）

TOP5

「育児情報をどこで探せばよいかわからない」**44%**
「学校との関わり方がわからない」**44%**
「ベビーシッターを利用したいが探し方がわからない 」**42%**
「学校への入り方や手続き方法がわからない」**39%**
「保育園や幼稚園がいっぱいで入れない」**36%**

参考　大手不動産情報サイトキーワード検索：外国人向け賃貸物件

２０２０年２月１日付

浜松市	外国籍市民	約2.5万人	**２２件**	※キーワードなし賃貸物件総数３９７３件
静岡市	〃	約１万人	**９２件**	※３５９１件
千葉市	〃	約2.5万人	**５０１件**	※２８１９件
さいたま市	〃	約2.5万人	**４６２件**	※３２７８件

地域の人とのコミュニケーション

地域の人とどんな交流がありますか

「挨拶程度の付き合い」**75%**
「一緒に出掛ける」**68%**
「イベントや祭りに参加する」**62%**
「母国の文化を教える活動をしている」**35%**
「子供の学校活動に参加する」**33%**
「浜松地域のコミュニティに参加している」**33%**

地域の人と交流しない理由は？

	地域の人と交流する機会 Interaction Level		
	少ない Low	普通 Average	多い High
相手があまり交流したがらないから People around me don't seem to want to interact	3	1	1
交流したいがどうしてよいかわからないから I want to interact but don't know what to do	1	5	3
交流する機会がないから I don' have any opportunity to interact	2	6	4
自分が交流しようと思わないから I am not really looking for interaction	5	2	5
言葉が通じないから I can't understand the language	4	3	6
文化や習慣の違いを理解してもらえないから I feel people around me don't understand the cultural difference	6	4	2
引っ越してきたばかりだから I just moved in	7	7	7
その他... Other...	8	8	8

地域の人と交流する機会が少ない人の交流しない理由
１番「交流したいがどうしてよいかわからないから」
２番「交流する機会がないから」
交流したいという気持ちはあるが、その方法がわからないことが理由

地域の人と交流する機会が多い人の交流しない場合の理由
1番「相手があまり交流したがらないから」
2番「文化や習慣の違いを理解してもらえないから」
交流したいという気持ちはあるが、相互理解が出来ていないことが理由

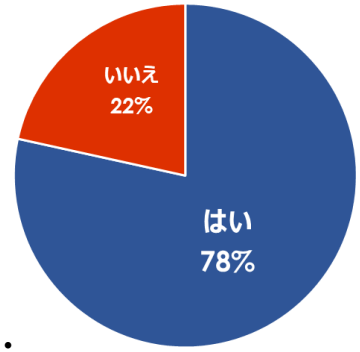
生の声

- 日本人と友達になる場所や機会がほしい
- 出身地のコミュニティを探したい
- 日本語だけでなく日本文化やマナーを勉強したい
- イベントの情報がどこで手に入るか知りたい
- 浜松にベジタリアンやハラルのレスランを作ってほしい
- ゆっくり、やさしい日本語で話してほしい
- もっと英語表記の看板や案内を増やしてほしい
- どこでクレジットカードが作れるか教えてほしい
- 外国の文化や習慣を知って受け入れてほしい
- 病院では英語が通じず、説明なく薬をくれるだけ
- 運転免許がなかなか取れず、移動が難しい

etc.

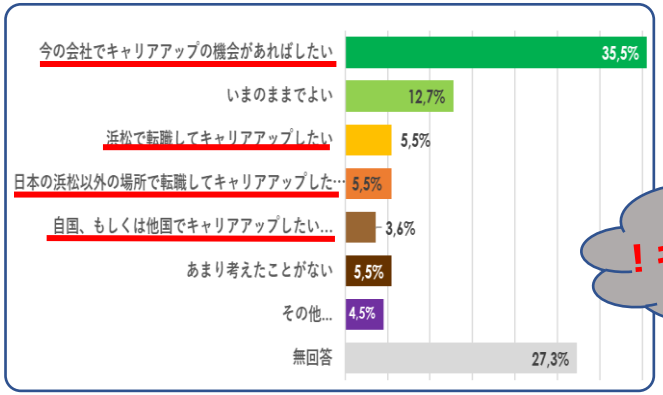
浜松での仕事状況と仕事への期待

浜松での仕事状況に満足していますか



今後のキャリアについて・・・

キャリアアップしたい！50.1%



日本の企業で困っていること

TOP5

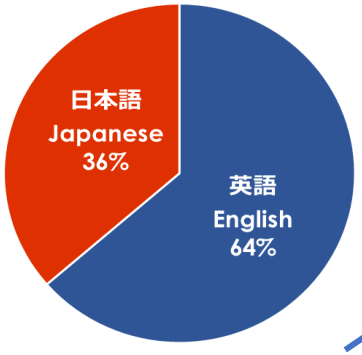
「日本人のあいまいな態度や言い方などが理解できない」５５%
「職場独特の文化や専門用語がわからない」４６%
「仕事の評価法がはっきりしていない」４６%
「日本語能力が理由で自分の能力が評価されていないと感じる」４４%
「外国人は日本人と同じ機会を与えられていないと感じる」４４%

！キャリアアップを阻む壁

期待と現実の大きな差

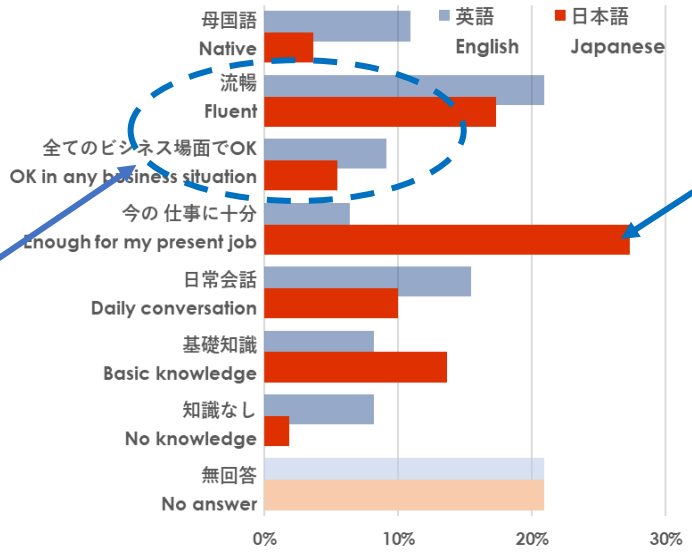
語学レベルと仕事でのコミュニケーション

アンケート回答言語



日本語レベルが高い人を見ると
半数以上が英語で回答

日本語と英語の語学レベル（自己評価）



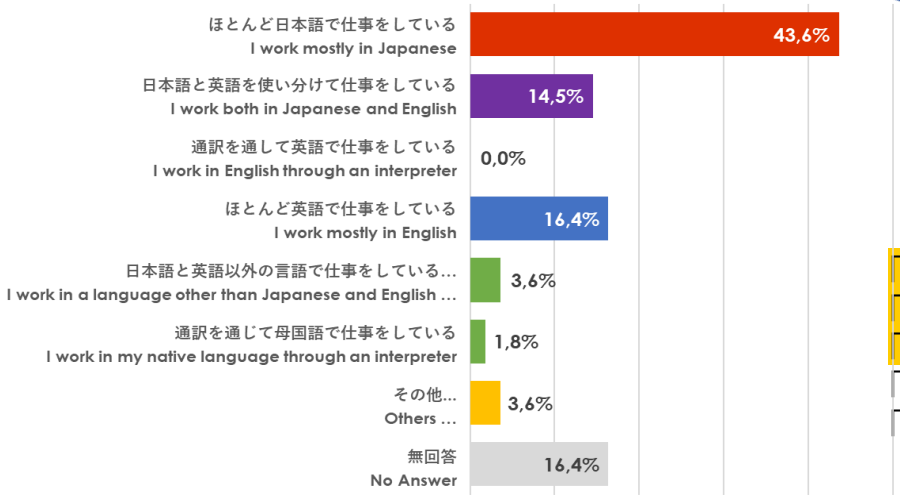
日本語レベルが「全てのビジネス場面でOK」ではなく
「今の仕事に十分」
と自己評価する人が多い

主な理由

- これ以上のレベルアップを望んでいない
- レベルアップしたいが勉強する時間がない
- これ以上はレベルが難しくてあきらめている

など

仕事でのコミュニケーション方法



ほとんど日本語で仕事をしているにもかかわらず困っていることは・・・

コミュニケーションで困っていること

TOP5

「日本語の書類を読んだり、書いたりするのに時間がかかる」**６０％**
「日本語が不十分なので上司や同僚とコミュニケーションがとれない」**４７％**
「日本語が不十分なので自分の意見をあまり聞いてもらえない」**４４％**
「英語が話せる同僚や上司がいない」４４％
「英語で書かれた書類などがない」４０％

言葉の問題と職場環境

日本語レベルが「全てのビジネス場面でOK」ではなく**「今の仕事に十分」**と自己評価する人が多い

寄せられた「生の声」をまとめると、このレベルが日本語を非母国語とする人たちにとって大きな壁となっている

- レベルアップをしたいが勉強する時間がない
  - 高い日本語レベルを目指すには長時間の勉強が必要
  - 仕事が忙しくて勉強する時間が見つけられない
  - 夜間に受けられる日本語教室がない
- 日本語を勉強したいが自分の仕事に集中したい
  - 自分の仕事のスキルアップを優先にしたい
  - 仕事が忙しくて、日本語を勉強する余裕がない
- これ以上は急に難しいレベルとなりなかなか上達できない
  - 日本人や職場独特の言葉遣い、雰囲気が理解できない
  - ある程度話せても読み書きは時間がかかって難しい

日本語能力試験レベル別日本語平均学習時間数

レベル	漢字文化圏の学生	1日1時間学習	漢字圏外の国からの学生	1日1時間学習
N1	2150時間	約６年	3900 時間	約10.7年
N2	1475 時間	約４年	2200 時間	約６年
N3	900 時間	約２年半	1325 時間	約3.6年
N4	550 時間	約１年半	788 時間	約2.2年
N5	350 時間	1年未満	463時間	約1.3年

参照：JLEC （日本語教育センター）
２０１０年１２月～ ２０１５年７月の在日外国人語学学生からの統計結果

～言葉の問題や職場環境においての戸惑いの声～

- キャリアアップを望んでも顧客と接したり、部下を持ったりすると「読み書きを含めたコミュニケーションを問題なくとる」 といった高い日本語レベルが求められ、この壁の高さに諦めざるを得ない状況になっている
- 外国人という理由で同じ機会（能力開発やキャリアアップの機会）を与えられないと感じる
- 日本語能力が理由で自分の能力が評価されていないと感じる、仕事の評価方法がよくわからない
- 日本語が不十分のため上司や同僚とコミュニケーションがとれない、すべてを理解するのに時間がかかる
- 英語が話せる上司や同僚がいない、英語で書かれた書類や表示がない

アンケート調査ハイライトまとめ

アンケート調査から見えた外国人市民の困り事

- 人々が交流する場所やイベントなどの機会が少ない
- 外国人が入居できる住まいが少ない、英語が通じるところ（銀行・病院など）が少ない
- 言葉の問題から、情報が得られなかったり、人とコミュニケーションがとれなかったりする
- お互いの国の文化や習慣など、相互理解が浅いために問題につながることがある
- 情報をどこで、どのように入手できるかわからないため、知りたい情報にたどり着けなかったり、情報を知らずに過ごしてしまうことがある
- 職場での言葉の問題や仕事のミスマッチ、職場環境において戸惑っていることが多い
- 地域での暮らしと仕事とのバランスがうまく取れていない

「誰もが住みやすいまち浜松を目指す」ために私達ができることは何か

- **お互いの文化や習慣を知ったり、人と交流するための場所や機会をつくる**
- **知りたい情報が得られる窓口をつくる**
- **外国人市民の日本文化の学習・日本語レベル向上のための教室・研修内容を充実させる**
- **日本人の外国語習得に対する意識啓発や外国人市民への異文化理解を図る**
- **職場における外国人材の受け入れ態勢について考える**
- **暮らしやすさと働きやすさのバランスがとれるようサポート体制を整える**

アンケート調査「誰もが住みやすいまち浜松を目指して」の集計結果と
ご回答いただいたみなさんの貴重な生の声はwww.polybotics.comにてご覧いただけます。